

# 射水市教育委員会 7月定例会会議録

開会日時 平成27年7月23日(木) 開会 午前10時30分

閉会 午前11時50分

会議場所 新湊農村環境改善センター会議室

出席委員

長井教育長、織田委員、宮原委員、眞岸委員、大代委員

会議事件説明員

尾山教育次長、成田教育次長、原学校教育課長、荒谷生涯学習・スポーツ課長、  
沢田教育センター所長、日下学校給食センター所長、原田新湊博物館長、杉高学校教育課主幹、  
杉本中央図書館長、塩谷学校教育課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午前10時30分、教育長が開会を宣した。

## 1 会議録の承認

承認された。

## 2 協議事項

(1) 平成27年度教育に関する事務の点検・評価報告書(平成26年度分)について  
学校教育課長が資料1に基づき説明した。

## 3 各課等の報告事項

(1) 北信越中学校総合競技大会出場選手について  
学校教育課主幹が資料2に基づき説明した。

## (2) 教育委員会行事予定

学校教育課長補佐が資料3に基づき説明した。

(3) 幼稚園・保育園運動能力向上支援事業「からだ育て教室」日程について  
生涯学習スポーツ課長が報告した。

## 4 その他

次回教育委員会の定例会開催日時について

日時・場所は、8月25日(金)午前9時から小杉中学校で訪問

午前10時から同場所で会議

## 5 議事

(1) 平成27年度教育に関する事務の点検・評価報告書(平成26年度分)について

[委員] 基本的施策において、総括、評価があるが、この形式はわかりやすく思う。ただし、  
評価に当たっては、事業量や成果も踏まえながら、評価の表し方を少し考えられた方が  
良いのではないか。

[事務局] 評価の方法については、表し方を検討していく。また、取組状況については、もう少し具体的な数値等を加えるなど、事務の動き、活動状況を示したい。

[委員] P34 芸能文化活動の推進において、施設単体で比較すると利用者数が減少しているとのことだが、どの施設が減少しているのか。

[事務局] 陶房「匠の里」が13,840人で約1200人減、小杉文化ホールが80,088人で約3000人減、大門総合会館が57,706人で約3900人減となっている。

新湊博物館は、6,375人で約800人増、竹内源造記念館が6,638人で皆増、新湊中央文化会館は82,778人で約8100人増となっている。

[委員] 博物館は貴重な収蔵品があり、企画展もよく考えられているが、来館者数が少ない。看板が小さく見えにくいのではないかと。また、多くが訪れる道の駅から博物館への誘導ができていないように考える。

小中学生が学校単位で入館することはあるのか。

[事務局] 昨年は小学校が市外を含め5校270人が見学されている。

[委員] 石黒信由は和算、測量、天文学などに長けた立派な人物であり、郷土愛を育むという点からも、地域にこのようなすごい人がいたということ子どもたちに教えてやれば良い教育になると考える。

[事務局] わかるような看板の必要性はあると感じている。また、道の駅から博物館がすぐわかるようにする必要がある。

[委員] 道の駅の商品と博物館入館の割引券を抱き合わせるなどして工夫すればどうか。

[事務局] 博物館でも現在検討している。別途、道の駅の従業員に博物館に何があるのかを知ってもらい、道の駅のお客さんの質問に答えてもらうため、毎年入館券を配布している。

[委員] 博物館を市外の方にも知ってもらうには、道の駅との一層の連携が必要と考える。

## (2) 北信越中学校総合競技大会出場選手について

[委員] 少子化の影響が部活動にも影響しているのではないかと。合同チームによる出場はできるのか。

[事務局] 北信越大会は全国大会につながっているので、合同チームでは出場できない。秋の新人戦等県レベルの大会では合同チームの出場は可能となっている。

午前11時50分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。